

# 襷絵を読み解く



## 1 牡蠣殻の山は胡粉作りの証

汐入の地中からは、大昔に埋もれた牡蠣殻が大量に採れました。牡蠣殻は、農作物を栽培するうえでは不向きなものとされていましたが、加工されることによって、最高級の胡粉に生まれ変わったのです。

胡粉作りの工程は①牡蠣殻を掘り起こして庭で干す②牡蠣殻を洗う③つき臼でつき、巨大な石臼で粉碎してすり潰す④水を注ぎながら石臼で何度も挽き、牡蠣殻の粉の濃い液体を作る⑤液体を板の上に載せ、日光で乾燥させて粉にする⑥商標を刷った小袋に詰め出荷する、というとても手間のかかる作業でした。

襷絵には真っ白な牡蠣殻の山が描かれています。汐入の胡粉は、非常に品質が良く、特産品として高値で販売されていました。

## 2 江戸で大好評の「汐入大根(二年子大根)」

汐入大根は、汐入地区で栽培されていた、細長い形が特徴の大根です。汐入地区を開発した高田嘉左衛門が栽培を始めたと伝えられています。汐入大根は、江戸の料理屋向けの野菜として人気がありました。



## 3 各家庭に船着場が!

汐入の対岸(今の足立区)には野菜を扱う市場があり、「やっちゃば」と呼ばれていました。汐入大根などの野菜を納めるときには船も使われており、川沿いの農家には、やっちゃばと行き来するための船着場がありました。

境内には胡粉を挽いた石臼が置かれています。一般的な石臼は直径30cmほどですが、胡粉用の石臼は直径60cm前後と大きいものでした



▲胡録神社の由緒が刻まれた記念碑。汐入の歴史を後世に伝えたいという当時の人々の思いが込められています

### 汐入の歴史っておもしろい!



▲野尻さんの解説を真剣な表情で聞くジュニア記者。汐入の歴史に興味津々!



▲胡粉の実物を見せてもらったジュニア記者は、「片栗粉みたいにサラサラ!」と感動

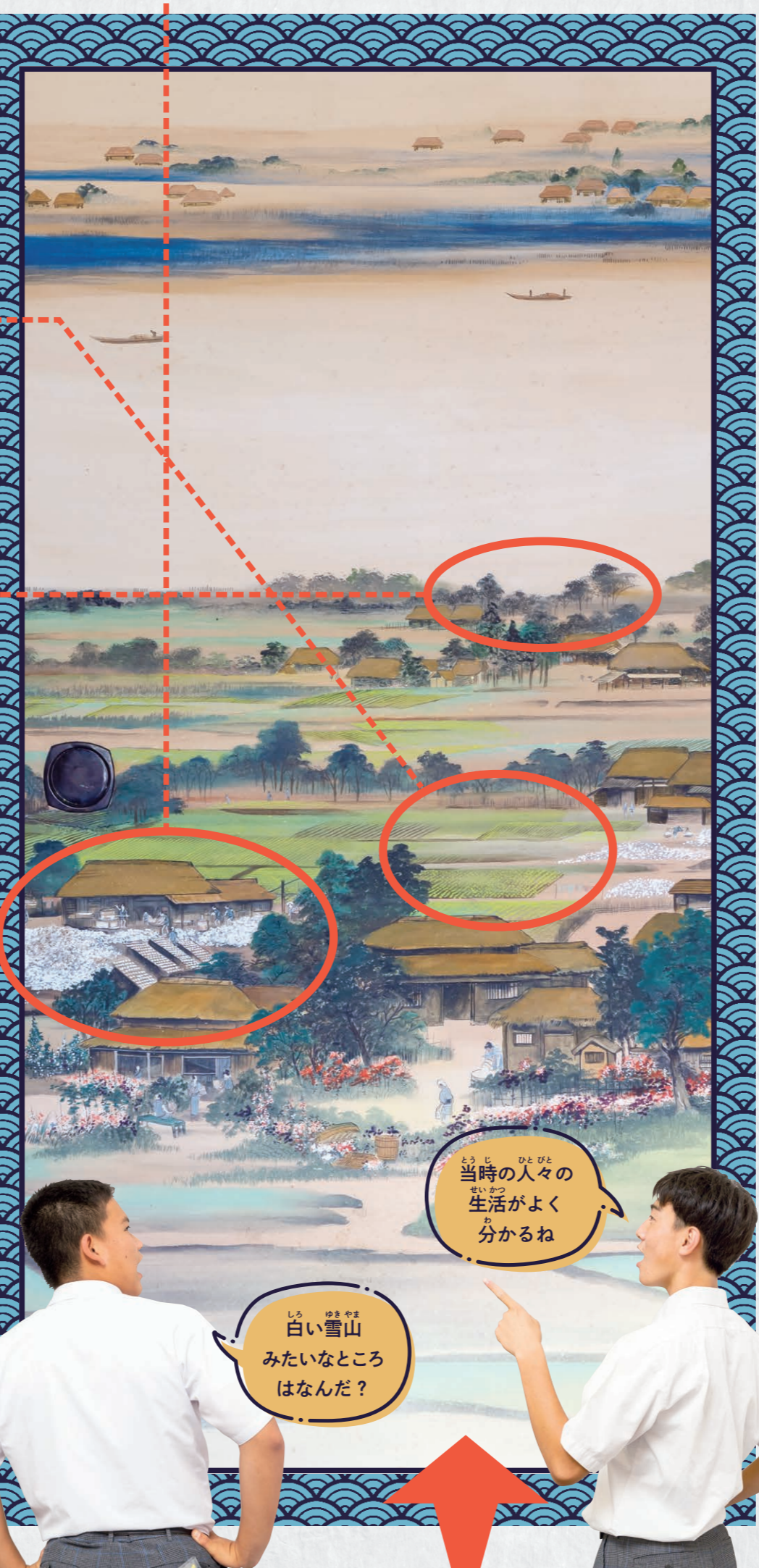
※取材で使用した胡粉は汐入産ではありません

## 胡録神社とは?



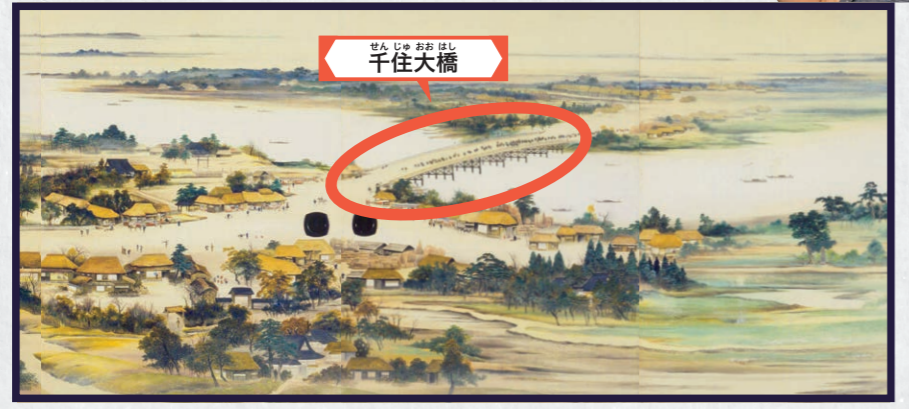
▲汐入地区の再開発のため、平成15年(2003)に境内地を現在の場所に移動しました

戦国時代、川中島の合戦後に越後の上杉謙信の家臣である高田嘉左衛門とその同志の高田氏、竹内氏、杉本氏らが汐入に定住し、村の平和を祈願するため、永禄4年(1561)に創建しました。本殿(荒川区登録有形文化財)は嘉永5年(1852)9月19日に修造されたものです。

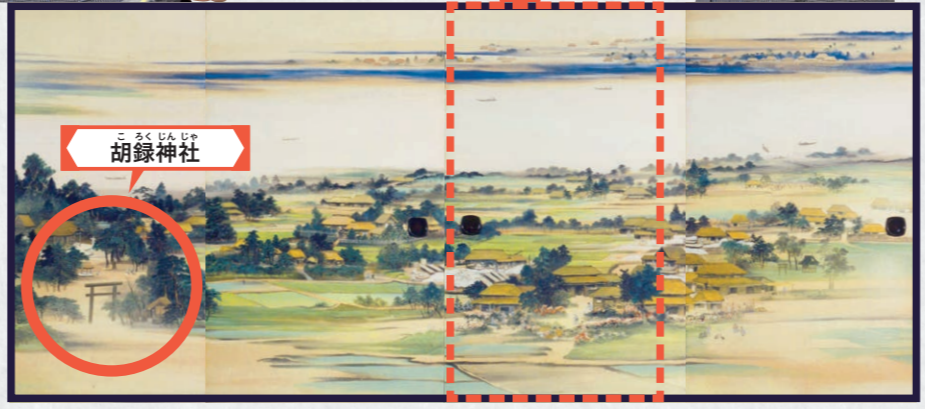


当時の人々の生活がよく分かるね

白い雪山みたいなところはなんだ?



千住大橋



胡録神社

## 胡録神社が所蔵する襷絵 (千住大橋から汐入部分)

### 取材を終えて

どうしてマンションが建ち並ぶ街なのに石臼が置いてあるのか、ずっと不思議に思っていたのですが、今日、その謎が解けたのでスッキリしました。汐入小学校に6年間通っていたのに、敷地内に石臼があることは知りませんでした。友達にも教えたいと思います。(間中さん)

石臼の謎が解けて嬉しい!

間中 新太さん

寺澤 拓海さん

▲「この襷絵は昔の汐入の生活を知ることができる、とても貴重な資料です!」と野尻さん

毎年、初詣で胡録神社にお参りしているけど、詳しい歴史は知らなかったの、いろいろな発見や驚きがあったので、楽しかったです。汐入の歴史が刻まれた記念碑に友人と同じ苗字を見つけたときは、子孫かも!? とワクワクしました。(寺澤さん)

石臼はここにもあります  
荒川ふるさと文化館  
南千住 6-63-1 ☎(3807)9234

# 胡録神社に残る襷絵から探る 胡粉の秘密

今回訪問した胡録神社の境内には、大きな石臼があります。どうやら、昔の汐入地区には、あちこちに石臼があったようです。それはなぜでしょうか。答えは襷絵に隠されています。ジュニア記者と一緒に調べてみましょう。



胡録神社には、普段は公開されていない10枚の貴重な襷絵が保管されています。これらは、昭和27年(1952)に汐入に滞在していた画家・若原天応が、調査を行い胡粉作りをしていたころの汐入の風景を想像して描いたものです。今回は特別に、この襷絵を見せてもらいました。

### こんなところに石臼が!?



▲胡録神社の近くにあるマンションの入口に、石臼の一部が埋もれています。汐入の歴史を伝えようと置かれたものかもしれません



▲汐入小学校で石臼のオブジェを発見! 胡粉作りの歴史の象徴として、石臼が保存されています

汐入には、胡粉の材料となる良質な牡蠣殻が採取できる環境だけでなく、胡粉を生産する方々の高い技術がありました。良質な「汐入ブランド」の胡粉は、京都や水戸の城下まで広く知られていました。

▲胡粉袋版木とその拓影 / 胡粉作りの中心的役割をはたしてきた、高田七兵衛家に伝わる版木。胡粉を出荷するときの小袋に商標を刷るために使われました

▲犬張子 / 安産祈願、出産祝いにも贈られる、江戸の郷土玩具。桐壺(桐のおがくず)のりを混ぜて粘土状にしたものを、人形生地(ひなだま)に、胡粉を塗りのり重ねて輪郭を作ります

### 胡粉豆知識



千住水戸 胡粉袋版木 高田七兵衛



荒川区指定無形文化財 保持者 田中作典氏